

2020年度（令和2年度）

認証水産物流通円滑実践事業

2021年（令和3年）3月

特定非営利活動法人 水産資源回復管理支援会

〈はじめに〉

〈認証水産物流通円滑実践事業の趣旨〉

わが国での国際的なスポーツイベントの食材調達基準を満足している水産物は、天然魚介類は MEL（マリン・エコラベル）と MSC（海洋管理協議会）が、養殖魚介類は AEL（養殖エコラベル）と ASC（水産養殖管理協議会）の 4 つの他、これに準じていると東京オリンピック・パラリンピック委員会が認める食材です。

特定非営利活動法人 水産資源回復管理支援会では、持続可能な社会実現方策の一つとして認証されたこれらの食材を試食提供しながら店舗やレストランの場を借り、認証水産物の広報を 3 年間ほど行ってきました。

本年度は新型コロナの影響で首都圏では販促活動が自粛され、大阪圏でも、試食活動が困難な状況になっております。

日本では食品表示法・不当景品類及び不当表示防止法などの法律により、食材の名称、生産地や栄養成分表示などの表示の仕方や不適切な表示の防止が定められております。また、多段階の流通過程を経て、環境に優しい生産活動の紹介を一般の人達まで届けるにはいくつもの課題があります。

本事業は、地球温暖化に象徴される環境の変化の中で、環境にやさしい活動を長期に続けている食材生産取組みを一般の方々に紹介するための実際的な活動のあり方を模索することが目的です。

<目次>

鮮魚店店頭説明およびアンケートの実施(同一店舗複数回方式)

1. 活動に関する基本情報	4
2. 2020年度の活動	4
3. アンケート結果の概要	
(1)実施方法	4
(2)アンケート項目	6
(3)アンケート結果要約	7
4. 課題と解決方法の模索	7

鮮魚店店頭説明およびアンケートの実施（同一店舗複数回方式）

1. 活動に関する基本情報

〈はじめに〉で述べた趣旨から店舗で認証水産物の広報・普及活動を行ってきた。

2019年から世界的に広まった新型コロナのために、小売店の店頭において試食提供することが不可能となった。特に2020年度には首都圏では、説明員が店頭に立つこと自体が、人の密を招くとの理由から許されなくなった。

この様な状況から、2020年度の認証水産物流通円滑実践事業においては、従来から本事業に協力していただいている関西圏の鮮魚店で、アンケート調査を主体に説明は補足にとどめる活動とした。場所の提供と配布の食材への協力いただいたのは本社が滋賀県草津市にある「株式会社鮮魚たかぎ」と大阪府東大阪市にある「株式会社魚組」である。

2. 2020年度の活動

本年度は新型コロナの趨勢が変遷し、社会的な経済活動が様子見の動きであったので、事業の実行方法や実施タイミングを模索したので年度末の実施となった。新型コロナ蔓延防止の観点からの制約、予算的、時間的、人的制約のなかで、昨年度までの経験から、より効果的な方策として同一店舗での複数回の実施とした。また、新型コロナ対応のために長時間の実施は控え、毎回10時から13時には終わるようアンケート枚数を30枚以内にとどめた。

(1) 「鮮魚たかぎ」守山店(滋賀県守山市播磨田町185-1 アル・プラザ守山1F)

ア. 実施日

2021年2月16日(火)、2月23日(火)、3月2日(火)、3月9日(火)の4回実施

イ. 実施方法

鮮魚売場の店頭で客にAEL(養殖エコラベル)認証魚のマダイをアンケート協力消費者に個別包装した試食用として手渡し方法で提供した。提供品は、水産エコラベルについて紹介するキャンペーン。魚は愛南漁業協同組合提供の養殖マダイ(一人100グラム)して実施。説明・アンケート実施担当2名及びアシスタント1名。

ポスター、卓上のぼり、水産エコラベル認証制度の水産白書水産エコラベルマップ(MEL、MSC、AEL、ASC紹介頁)などを掲示した。



(2)「魚くみ」近鉄奈良店(奈良県西大寺市東町 2-4-1 近鉄百貨店奈良店 B1F)

ア. 実施日

2 回実施:2021 年 3 月 8 日(月)、3 月 15 日(火)の 2 回実施

イ. 実施方法

鮮魚たかぎと同様。説明・アンケート実施担当 2 名及びアシスタント 1 名も同一人物。



(3)「魚くみ」松坂屋高槻店(大阪府高槻市紺屋町 2-1 松坂屋高槻店 B1F)

ア. 実施日

2 回実施:2021 年 3 月 22 日(月)、3 月 29 日(火)の 2 回実施

イ. 実施方法

鮮魚たかぎと同様。説明・アンケート実施担当 2 名及びアシスタント 1 名も同一人物。



3. アンケート結果の概要

(1) 実施方法

2人の調査員が簡単な説明してアンケートを実施した。円滑な作業となるため、また、人による回答のふれを押さえるために、回答記入は調査員が行った。アシスタントは人が密にならないように人の流れを整列整理し、回答された方には、帰宅後に試食していただく食材を手渡した。

2回目には、初回食材をお渡した方にはニュアンスの異なるアンケートを実施した。

(2) アンケート項目

水産エコラベルに関して

認証水産物流通円滑実践事業(アンケート) 1回目

- ① 水産エコラベルという言葉聞いたことはありますか？
- ② 具体的な名称はお聞きになったことはありますか？
- ③ 第三者認証と言う言葉は聞いたことはありますか？
- ④ SDGsという言葉聞いたことはありますか？
- ⑤ インターネットはされますか？
- ⑥ QRコードは使ったことはありますか？
- ⑦ 食料品の買物の頻度は如何でしょう？
大体決まった曜日、時間に行かれますか？ この店には如何でしょう？

(2021年 月 日)

